

# 台風流入土砂取り除く

玉野の民家 ボランティア作業



室内に流れ込んだ土砂を取り除く災害ボランティアら

ら室内に流れ込んだ土砂を取り除く奉仕活動をした。

玉野市社会福祉協議会の常設型災害ボランティアセンターの登録者、玉野高生徒ら14人が参加。大量の土砂が流入した1階の居間と洗面所から家具などを運び出し、土砂をシャベルでかき集めては土のう袋に次々と詰められた裏山の斜面はブルーシートで覆った。

災害ボランティアとしても役に立てれば」  
として参加した玉野市築と話した。

港、看護師芹川和子さ 住民の大学1年男子  
ん(66)は「2004年(18)は「家族だけでは  
の台風で自宅が床下浸できない作業。とても  
水した経験があり、大ありがたい」と感謝し  
変さはよく分かる。少た。(岡本遙加)

17日夜に県内へ最接 民家で23日、市内外の  
近した台風18号の被害 災害ボランティア、地  
に遭った玉野市渋川の 元高校生らが、裏山か  
た。